

新和新聞

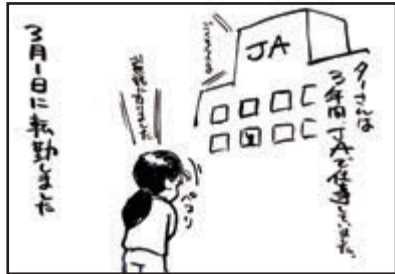
尾道を元気にする私たちの笑顔で。

2026年4月号



<http://www.shinwabs.co.jp>

競走クレーンクルー ひらすまきん 外伝 No.213 **ぞれゆけ! バトナム実習生**



小林輝久社長コラム

当社の会長が86歳になりました！

昭和15年に満州国牡丹江市生まれ。戦後、命からがら帰国したとの事です。元気の秘訣は『女性会の仲間とさくら茶会』などのボランティアをすること、ルソーやピカソの絵画を鑑賞することでストレスをためないことが良いみたいです。

新和トピック

消防訓練を実施しました！

3月12日、社内にて消防訓練を実施しました。今回の訓練では、実際に消防署の方々にお越しいただき、避難や初期対応の様子を見ていただきました。また、訓練終了後には、消防署の方々から訓練内容について講評と助言をいただき、実際の火災時に役立つ重要なお話を聞くことができました。今後も定期的に訓練を実施し、安心・安全な職場環境づくりに努めてまいります。



建築設備診断技術者(ビルディングドクター)からの提言

2026年4月から「資源有効利用促進法」の改正により、モバイルバッテリー等の回収・再資源化が義務付けられるため、建物内で保管しなければならないケースの増加が想定されており、出火防止対策はビルオーナー様・管理会社にとっても喫緊の課題といえます。

しかし現在、深刻な人手不足に直面している管理会社にとっては、いつ、どこで発生するかわからない火災の芽を、24時間365日、それぞれ配電盤内部や保管庫の中など物理的に目が届かない場所まで含めると、限られた人員で対応することは困難です。死角への対策として大掛かりな消火設備を増設するとしても、ビルオーナーには多大な導入、コストが障壁となるうえ狭い配電盤内や個別の保管スペースに設置しなければならず、現実的ではないのが現状です。

■無人環境での火災トラブル延焼防止

こうした火災の「死角」に対し、一つの解決策となるのが「フィルム状の消火資材」です。火災発生時の熱に反応して消火機能を発現する特殊フィルムで、火災の熱を感知すると、燃焼連鎖反応を停止させる成分を含んだ消火剤が放出され、人手を介さない迅速な初期消火が可能になります。

その一つ、TOPPANが開発した消火フィルム「FSfilm®」は、現場で活用しやすい下記の特長を持っています。

- 超薄型・軽量：フィルム状のため、配電盤の裏側や電池ケース内など、場所を選ばず設置可能
- メンテナンスフリー：電気も動力も不要。一度貼れば3年間の長期設置が推奨されており、管理コストを最小限に抑えられる。
- 環境・人体への配慮：有害ガスが発生せず、精密機器へのダメージも抑制できるため、ビルメンテナンスの現場に最適。

例えば古いリチウムイオン電池の保管ケースや、老朽化が心配される配電盤や制御盤の内部、そのほか火災の芽となる可能性が懸念される場所に設置するだけで、人の手を介さずに熱を感知して自動で消火剤を放出するため、目の届かない場所や深夜・早朝などでも、火災リスクを軽減することができます。

■情報提供

TOPPAN株式会社 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部
<https://www.toppan.com/ja/living-industry/packaging/topics/column/002/>
お問合せ先：新和ビル・サービス(株)まで

廃棄物部だより

廃棄物収集運搬業を選ぶときのポイント

廃棄物の収集運搬業者は、料金だけで選ぶと失敗しがちです。知らないうちに損しているかも…。選ぶポイントと最後にお願した方が良い業者さんについて紹介していきます。最初に確認したいのは、お願しようとしている業者が許可を持っているのか。許可を持っていない業者にお願してしまうと排出者も罰せられてしまいます。次に、回収頻度や処分費など、金額の根拠を説明できる業者ほど信頼できます。最後に、一番信頼できる業者さんを紹介いたします。それは、お客さんが得るように見積り段階でアドバイスをくれる業者さんです。「これは自分で運んだ方が安くなる」や「これは売却できるものなので捨てないで下さい」などお客様が得するようなアドバイスする業者さんは稀ですので良心的な業者さんです。廃棄物収集業者を選定する際は気を付けてみてください！

発行元



新和ビル・サービス株式会社